

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））  
分担研究報告書

患者調査データの解析

—平均診療間隔の分布と再来外来患者数の変化および入院期間の調査結果—

研究分担者	野田 龍也	奈良県立医科大学公衆衛生学講座講師
研究協力者	今村 知明	奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授
	久保 慎一郎	奈良県立医科大学公衆衛生学講座
	三宅 好子	奈良県立医科大学公衆衛生学講座

**研究要旨** 患者調査における総患者数の推計においては、前回診療からの診療間隔が比較的大きな影響を及ぼしていると考えられる。本研究では、調査年とともに診療間隔の分布がどう変化するかを全傷病及び傷病別で比較し、入院患者における在院日数の変化をあわせて算出した。その結果、全傷病及びほとんどの傷病について、再来患者の診療間隔は延長しており、全傷病では、前回診療から30日以内に91%の患者が再来していたのに対し、平成26年には74%にまで低下していた。特に治療手段や方針に大きな変化があった傷病においてこの傾向は顕著であった。入院期間では、特に一部の精神疾患において平均在院期間が低下していることを認めたが、退院患者を含めない在院期間であるため、長期入院の影響を受けやすい実態が明らかとなった。総患者数の推計の一部を構成する平均診療間隔の計算にあたっては、前回診療から30日以内の再来患者を対象とする現行の算入方式について、治療技術の変化や疾患特異的な事情などの医学的な視点と、薬剤の処方上限日数や診療報酬における初診算定基準といった社会制度上の視点、そしてそれらの影響を含んだ平均診療間隔の分布を総合的に勘案して適宜見直しを行うことが望ましい。

#### A. 研究目的

患者調査は3年毎に全国の病院・診療所・歯科診療所に対して行われ、わが国における基幹的な傷病統計として医療計画作成や診療報酬改定等の基礎データとして利用されている。

患者調査では、特定の1日（調査日）における傷病別患者数（推計患者数）から1年間の傷病別患者数（総患者数）が推計されており、総患者数は入院患者数、初診外来患者数、再来外来患者数の和として示される（図1）。このうち、再来外来患者数は、調査日の再来外来患者数（図1の(C)；推計再来患者数とも呼ばれる。）と調査日外の再来外来患者数（図1の(D)）に分けることができる。後者は、調査日に来院しなかったが他の日に再来すると見込まれる患者である。調査日外の再来外来患者は、「調査日の再来外来患者数（の一部）」に「再

来患者の平均診療間隔」と「調整係数」（現行は6/7。医療機関の週間診療日数による調整。）を乗算することにより推計されている。この推計では前回診療日より30日以内に受診した再来患者のみが含まれ、31日以上経って再来した患者は除外される。本研究では、「何日以内に再来した再来患者を平均診療間隔の計算対象とするか」という基準（現行では30日）を「平均診療間隔の算入上限」と呼ぶこととする。

一方、平成14年4月の医療法改正によって、原則最大14日までであった処方日数制限が大幅に緩和されたことや、近年の治療技術の向上、入院から外来通院への転換などの診療環境の変化から診療間隔は延長していると考えられ、その場合、再来外来患者数の推計に影響が及ぶ。

本研究の目的は、患者調査における診療間隔の年次変化を全傷病及び傷病別に示すとともに、

傷病別の再来外来患者数の変化を検証することにより、平均診療間隔の算入上限の決定方法に関する論点を提示することである。

## B. 研究方法

本研究は、平成8年から平成26年までの7回分の患者調査を対象とした。これらの調査票情報を利用し、調査日の再来外来患者の診療間隔の分布、平均診療間隔の算入上限を変えた場合の平均診療間隔や再来外来患者数の変化を調査年次ごと及び傷病分類ごとに算出した。

診療間隔は調査日と前回の診療日の差分とした。傷病分類別の集計においては厚生労働省が作成している傷病分類のうちICD-10の大分類に対応した傷病分類と、近年に診療間隔が大きく変化した可能性があると思込まれた20疾患を選択した。推計再来患者数（調査日における再来外来患者数）の算出に当たっては、患者調査の調査票データに拡大乗数による重みづけを行った。拡大乗数は実際の1000倍値であるため、実際の度数に調整するため各度数を1/1000している。

### （倫理面への配慮）

本研究は、個人情報や動物愛護に関わる調査及び実験を行わず、個人を特定できない統計情報を使用している。研究の遂行にあたっては、「人を対象とする医学的研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示）を遵守するとともに、奈良県立医科大学医の倫理委員会の承認（2015年10月19日）を得た。

## C. 研究結果

平成8年から平成26年の患者調査について、平均診療間隔及び再来外来患者数を全傷病または傷病（群）別に集計したものうち、平成8、平成17、平成26年の3年分を表1に示す。全傷病では、推計再来患者数の合計は512.7万人から476.9万人へ18年間で7.0%減少している。傷病大分類別では、「感染症及び寄生虫症」（-27.0%）や「消化器系の疾患」（-43.4%）

のように推計再来患者数が大きく減少した傷病分類もあれば、「新生物」（16.3%）や「精神及び行動の障害」（62.3%）のように大きく増加した傷病分類も見られた。

表2は、前回診療日情報のある推計再来患者全体を100%とし、前回診療からの日数で区切った推計再来患者数の累積割合である（以下、この累積割合を「再来患者カバー率」と呼ぶ）。例えば、平成8年患者調査では、調査日における再来患者の53.1%が前回診療から10日以内に受診していた。

全傷病で見ると、前回診療から30日以内の再来患者カバー率は、平成8年には91.2%であったが、平成26年には74.4%にまで低下している。逆に、平成26年に91.2%の再来患者カバー率を満たすためには、前回診療から60日程度までの再来患者を対象とする必要がある。傷病別にみると、再来患者カバー率の低下は「新生物」で顕著であり、平成8年の診療間隔30日における再来患者カバー率（86.6%）とほぼ同じカバー率を平成26年調査で満たすためには、前回診療から89日までの再来患者を含める必要がある。一方、「精神及び行動の障害」では、平成8年の診療間隔30日における再来患者カバー率（92.3%）を満たすためには、前回診療から40～50日程度までの再来患者を含めればよい。また、「妊娠、分娩及び産じょく」では、診療間隔30日における再来患者カバー率が平成8年（92.2%）と平成26年（94.4%）でほぼ不変であった。このように、再来患者カバー率の変化は傷病ごとに大きな違いを認めた。

再来患者カバー率を傷病小分類別に見たところ、「胃の悪性新生物」、「大腸の悪性新生物」及び「乳房の悪性新生物」では、診療間隔30日における再来患者カバー率は大きく低下しており、特に「乳房の悪性新生物」ではその傾向が顕著であった。長期的なフォローアップが必要な疾患の例として、「脊髄性筋萎縮症及び関連症候群」（筋萎縮性側索硬化症など）と「パーキンソン病」を比較したところ、前者では診療間隔30日における再来患者カバー率は、平

成8年(92.1%)と平成26年(87.6%)でほとんど変わらないのに対し、後者では平成8年(94.4%)と平成26年(71.4%)で大きな変化を認めた。

次に、前回診療からの間隔について、全傷病における平成8年と平成26年の比較を図2に示す。再来患者数の前回診療間隔は1日目(前日受診者)に最初のピークがあり、その後は、7の倍数(一週間ごと)にピークが生じている。これは他の調査年次や傷病分類ごとの集計でも同様の傾向であった。図3は、平成8年から平成26年にかけての前回診療間隔の年次推移を再来患者カバー率の形式で示したものである。同じ診療間隔で見たカバー率は年を追うごとに大きく低下していることが分かる。

また、平均診療間隔を推計する際に用いる平均診療間隔の算入上限を、仮に30日から90日へ変えたところ、調査年次が新しくなるほど、平均診療間隔の推計値は大幅に上昇した。病院票の全傷病において、平成8年における平均診療間隔は11.7日であったが、算入上限を90日に変えたところ15.2日となった。平成26年では11.8日(30日基準)と23.7日(90日基準)であった。

次に、平均診療間隔の算入上限を現行の30日から90日に変えて再来外来患者数を推計したところ、全傷病における平成26年の再来外来患者数は5585.8万人から9415.2万人と約1.7倍に増加した。算入上限を30日から90日へ変えた場合の再来外来患者数の増加率を傷病小分類別に見ると、平成26年においては「盲<失明>及び低視力」及び「脊柱及び骨性胸郭の先天奇形」が4倍以上、「骨及び関節軟骨の悪性新生物」及び「屈折及び調節の障害」では3倍以上、各種のがんを含む多くの傷病で2倍以上になった。

なお、傷病別に前回診療からの診療日数が不詳の患者の割合は、平成8年：2.3%、平成11年：1.5%、平成14年：0.4%、平成17年：1.5%、平成20年：2.5%、平成23年：4.2%、平成26年：5.1%と近年上昇傾向にある(表は非掲載)。

調査日時点で在院している患者を対象とした平均入院期間を年度別に示したものを表3に示す。この平均入院期間は、調査日から入院日の差分を入院患者数で平均したものである。これを見ると、全傷病においては平均入院期間が年次別に減少傾向を示しているが、傷病小分類でみるとその傾向は傷病に依存することが分かった。例えば、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」は平成8年は3875.5日であったが、平成26年には3364.6日で下降傾向にある。一方、「妊娠期間及び胎児発育に関連する障害」は、平成8年が34.1%、平成26年には46.1%で増加傾向であった。

#### D. 考察

高齢化に伴い、患者数は増加すると考えられるが、実際には推計再来患者数は減少している。これは、再来患者の診療間隔の延長に伴い、平均診療間隔の算入上限を30日以内とする現行の推計方法では患者数が過小に推計されている影響が大きいと推察される。

平均診療間隔が延伸し、30日における再来患者カバー率が低下した理由はいくつか考えられる。まず、平成14年に薬剤の処方上限日数が延長され、原則最大30日間等であった処方日数が大幅に緩和され、一部の薬剤を除き処方日数の上限が撤廃されたためである。次に、治療技術の向上により頻回に受診する必要性が低下したことが考えられる。例えば、平成8年から平成26年にかけて、「新生物」で診療間隔が大きく延長しているが、これは治療手段や方針が改善され、短期間高頻度に受診する患者が減少していることの表れであると考えられる。実際、「パーキンソン病」と「脊髄性筋萎縮症及び関連症候群」(筋萎縮性側索硬化症など)との比較では、前者は後者に比べ診療間隔が大きく延長したが、これは、前者に各種新薬や深部脳刺激術などの新しい治療手段が登場したのに対し、後者は(いくつかの進展はあるものの)依然、頻回の受診が必要な疾患であることを反映したものと考えられる。そのほか、疾患別の

事情として、症状が固定した難病では、介護技術や制度の発展に伴い診療間隔が延長している可能性もある。

他の理由としては、介護保険制度が開始されたことに伴い、「介護的な医療介入」が減少した可能性がある。これまで医療機関を受診して治療やケアを受けていた患者が、介護保険制度の展開により在宅で類似のケアを受けられるようになり、医療機関を受診する頻度が減ることによる。また、特に高齢者においては、医療費負担割合が変更され、平成8年では外来1カ月1020円だった自己負担額が平成14年から1割負担に引き上げられ、平成20年の後期高齢者医療制度により段階的に2割負担となっていることも重要である。これまで頻回に受診していた高齢者が受診回数を減らしたことが診療間隔の延長につながった可能性は否定できない。

さて、平均診療間隔の算入上限を30日におく現行の基準は平成8年患者調査から採用されている。平成8年患者調査では、前回診療から30日以内における再来患者カバー率は91%であった。平成26年調査では、平均診療間隔の算入上限を63日とした場合に同等のカバー率となる。今後、前述の理由がさらに進むことにより、診療間隔はますます延長することが予想される。このような社会情勢の変化を鑑みると、平均診療間隔の算入上限は一定の延伸が必要な時期を迎えつつある。なお、現行の推計方法を検討した平成5年の橋本らの検討（「厚生省患者調査に基づく総患者数の推計方法に関する検討」、厚生省の指標、第41巻6号）では、平成2年の調査票情報を用いて推計方法を決定している。今回、本研究では平成8年からの調査票情報を用いているため、当時のカバー率を算出することはできないが、その点には留意する必要がある。

一方、平均診療間隔の基準を野放図に延ばすべきでない理由も存在する。例えば、診療報酬制度上、患者が任意に受診を中断し1月以上経過した患者は初診扱いとなる可能性があり、患者調査において、本来は再診であるべき患者が

初診患者として回答される可能性がある。診療間隔が長い患者をどこまで再診とするかについては意見の分かれるところであり、現推計方法を検討した橋本らの検討（前述）でも同様の議論が存在する。

また、診療間隔の長い患者を再診とする場合、その1人が与える再来外来患者数への影響が大きいことに留意すべきである。なお、患者調査の調査票では、診療間隔の算出に「前回診療月日」（年の情報はなし。）を用いているため、調査日（多くは10月）の属する年より前の年に生じた前回受診、すなわち約10ヶ月間以上前の受診は把握できない。患者調査において前回からの診療間隔が不詳の患者の割合が上昇傾向にあることや、外来の定期的なフォローを1年とする傷病も多いことから、調査票の設計は今後の検討課題となりうるが、現行の調査において、算入上限の延長に限界があることは念頭におく必要がある。

なお、仮に平均診療間隔の算入上限を90日程度へ大幅に引き上げた場合、全傷病における再来外来患者数は約1.7倍増加する。これはあくまで全傷病における傾向であり、もともと診療間隔に著しい変化のなかった「妊娠、分娩及び産じょく」はほとんど増加せず（1.1倍）、もともと診療間隔が長く、現行の算入上限で再来患者カバー率が高くなかった「眼及び付属器の疾患」においては2.2倍へ増加するなど、平均診療間隔の算入上限の変化がもたらす影響は傷病により異なる。いくつかの難病ではさらに再来患者カバー率は低い傾向がある。目的に応じて平均診療間隔の算入上限を変更することに問題はないため、個別の事情にあわせ、傷病（群）毎に異なる算入上限を設けることは十分に許容される。ただし、患者調査における外来再来患者数（及び総患者数）の推計においては、傷病別に平均診療間隔の算入上限を設定することは閾値決定や結果解釈の困難と混乱が予想されるため、全疾患で同一の算入上限を用いることが現実的であろう。

以上を踏まえ、平均診療間隔の算入上限は、治療技術の向上や疾患特異的な事情等の医学的な視点と、薬剤の処方上限日数や診療報酬における初診算定基準といった社会制度上の視点、そしてそれらの影響を含んだ平均診療間隔の分布を総合的に勘案して決められるべきと考える。

入院期間の検討では、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が平成 26 年には 3364.6 日と、減少傾向ではあるものの依然として長期の入院期間となっている。患者調査における在院患者平均入院期間は、すでに退院した患者は考慮せず、「調査日に入院していた患者の在院期間」を示しているため、長期入院者の影響を受けやすい。患者調査は標本調査であり、集計対象となった患者の調査票情報を元に集計されなかった患者の情報に対しては、拡大乗数を用いて推計する操作を行っている。従って、調査対象となった病院に極端に入院期間の長い患者がいる場合、在院患者平均入院期間を過大に見積もってしまう可能性があることに留意すべきである。

## E. 結論

患者調査は受療率や推計患者数を知るうえで重要な基幹的な統計であるが、再来患者の診療間隔は調査年次とともに延長していることが明らかとなった。また、平均診療間隔の算入上限を変えることが、再来外来患者数の相当の上昇を導くことが分かった。平均診療間隔の算入上

限を決める際には、医学的な視点、社会制度上の視点、平均診療間隔の分布の変化を総合的に勘案することが望ましい。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

なし。

### 2. 学会発表

- 1) 久保慎一郎，野田龍也，川戸美由紀，山田宏哉，三重野牧子，谷原真一，村上義孝，橋本修二，今村知明．患者調査における平均診療間隔の分布と外来再来患者数の変化．日本公衆衛生学会，2016.
- 2) 新居田泰大，野田龍也，久保慎一郎，川戸美由紀，山田宏哉，三重野牧子，谷原真一，村上義孝，橋本修二，今村知明．患者調査における在院患者平均入院期間の算出～精神科入院を例に～．日本公衆衛生学会，2016.

## G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

### 1. 特許取得

なし。

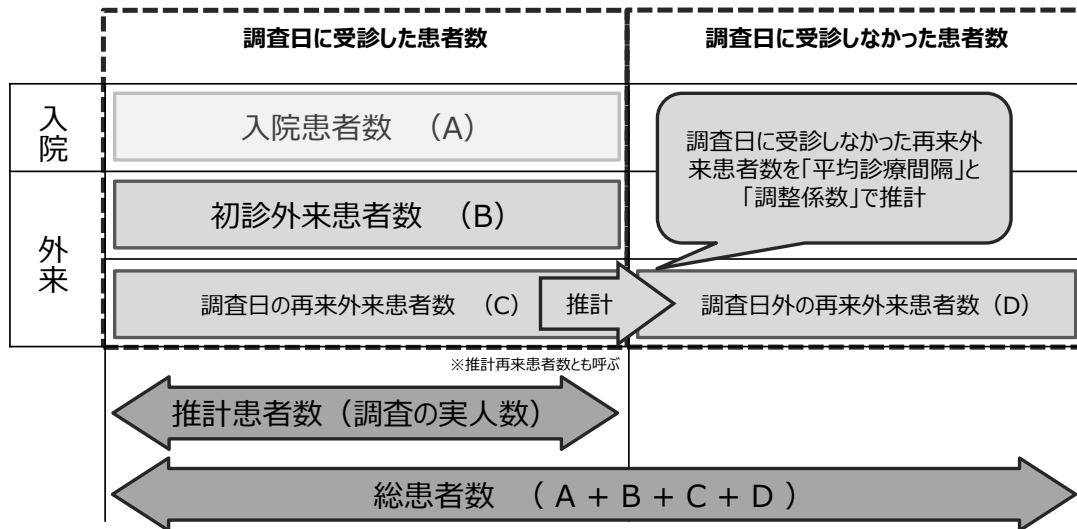
### 2. 実用新案登録

なし。

### 3. その他

なし。

図1. 患者調査における「総患者数」



厚生労働省「平成26年(2014)患者調査の概況 5 主な傷病の総患者数」より一部改変  
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/14/dl/05.pdf>

図2. 診療間隔の変化 (平成8年 対 平成26年; 全傷病)

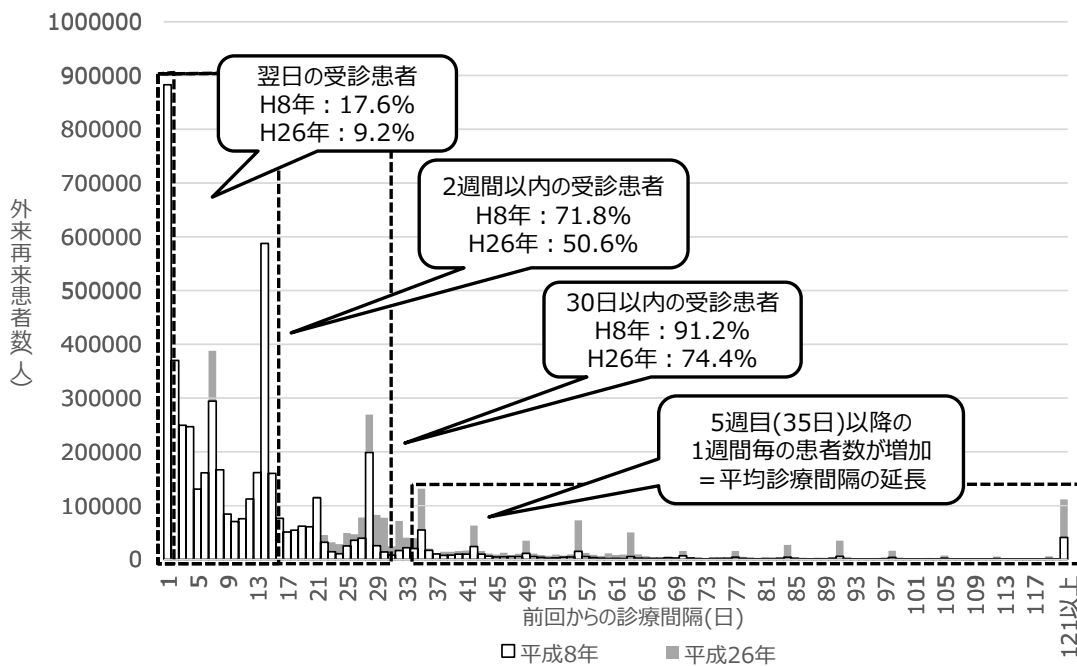


図3. 診療間隔に係る再来患者カバー率の年次推移（平成8年から平成26年；全傷病）

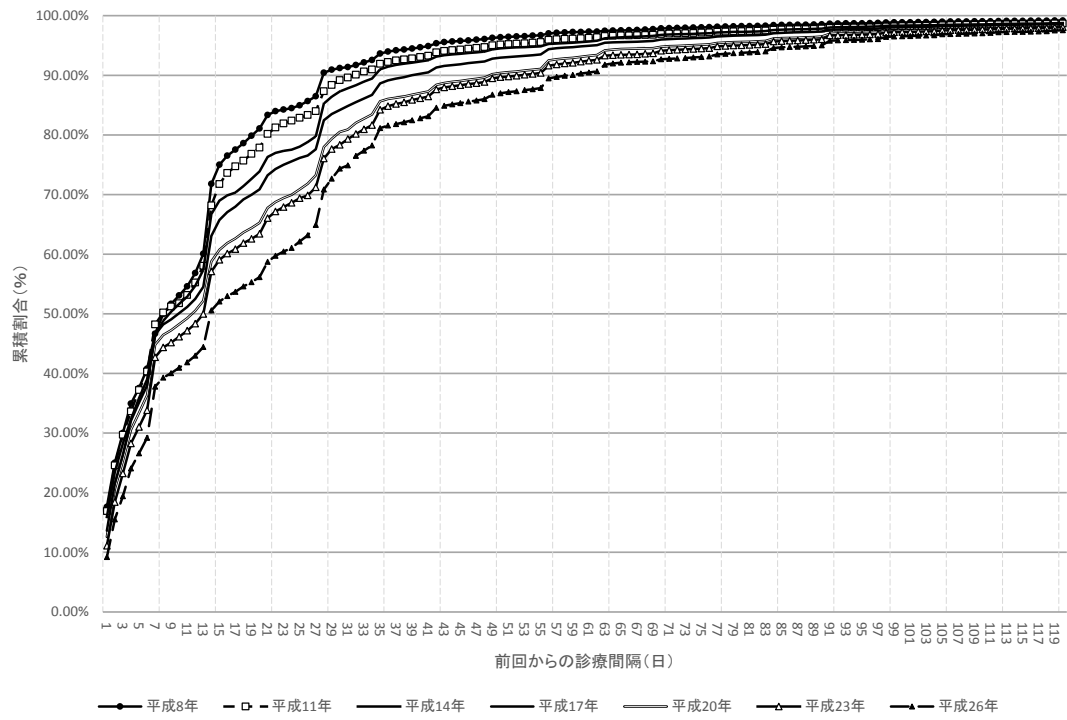


表1. 平均診療間隔算出の対象期間を変化させた場合の影響

傷病カテゴリ別	年次	推計再来患者数 (千人)	再来外来患者数 (千人)						再来外来患者数の増減率				
			診療間隔 1~30	診療間隔 1~60	診療間隔 1~90	診療間隔 1~91	診療間隔 1~120	診療間隔 1~30	診療間隔 1~60	診療間隔 1~90	診療間隔 1~91	診療間隔 1~120	
			診療間隔 1~30	診療間隔 1~60	診療間隔 1~90	診療間隔 1~91	診療間隔 1~120	診療間隔 1~30	診療間隔 1~60	診療間隔 1~90	診療間隔 1~91	診療間隔 1~120	
<b>全傷病</b>	平成8年	5127.7	48,773	58,562	62,609	63,060	65,655	1.00	1.20	1.28	1.29	1.35	
	平成17年	4816.3	48,310	64,978	72,298	73,362	77,576	1.00	1.35	1.50	1.52	1.61	
	平成26年	4769.9	55,858	81,161	94,152	96,730	103,818	1.00	1.45	1.69	1.73	1.86	
<b>I 感染症及び寄生虫症</b>	平成8年	171.0	1,344	1,660	1,819	1,832	1,946	1.00	1.24	1.35	1.36	1.45	
	平成17年	178.8	1,502	2,017	2,260	2,297	2,446	1.00	1.34	1.50	1.53	1.63	
	平成26年	124.9	1,285	1,852	2,133	2,169	2,311	1.00	1.44	1.66	1.69	1.80	
結核	平成8年	6.4	92	106	115	118	126	1.00	1.15	1.25	1.28	1.37	
	平成17年	2.7	39	50	57	61	68	1.00	1.28	1.47	1.58	1.76	
	平成26年	1.5	20	29	35	37	40	1.00	1.46	1.82	1.88	2.03	
麻疹	平成8年	0.2	1	2	2	2	2	1.00	1.17	1.17	1.17	1.17	
	平成17年	0.1	1	1	2	2	2	1.00	1.71	2.05	2.05	2.88	
	平成26年	0.0	0	0	0	0	0	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
風疹	平成8年	0.4	3	3	3	3	3	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	平成17年	0.0	0	0	0	0	1	1.00	1.00	1.00	1.00	4.40	
	平成26年	0.1	1	1	1	1	1	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
B型肝炎ウイルス	平成8年	9.0	68	85	92	96	109	1.00	1.24	1.35	1.40	1.60	
	平成17年	8.1	68	105	120	124	137	1.00	1.54	1.76	1.81	2.01	
	平成26年	4.7	57	98	123	131	145	1.00	1.73	2.17	2.30	2.55	
<b>II 新生物</b>	平成8年	172.1	2,041	2,425	2,661	2,719	2,904	1.00	1.19	1.30	1.33	1.42	
	平成17年	175.4	2,015	2,720	3,207	3,356	3,691	1.00	1.35	1.59	1.67	1.83	
	平成26年	200.1	2,244	3,248	4,195	4,657	5,236	1.00	1.45	1.87	2.08	2.33	
胃の悪性新生物	平成8年	27.6	328	374	398	403	414	1.00	1.14	1.21	1.23	1.26	
	平成17年	17.9	223	296	334	342	368	1.00	1.33	1.50	1.53	1.65	
	平成26年	17.2	199	296	366	393	432	1.00	1.49	1.84	1.97	2.17	
大腸の悪性新生物	平成8年	22.1	277	312	334	337	345	1.00	1.13	1.21	1.22	1.25	
	平成17年	18.4	226	301	339	347	369	1.00	1.33	1.50	1.53	1.63	
	平成26年	24.7	280	409	515	564	615	1.00	1.46	1.84	2.02	2.20	
気管、気管支及び肺の悪性新生物	平成8年	7.9	84	99	107	111	121	1.00	1.18	1.28	1.33	1.45	
	平成17年	11.0	119	154	181	190	212	1.00	1.29	1.52	1.60	1.78	
	平成26年	14.1	147	204	248	276	308	1.00	1.39	1.68	1.88	2.10	
乳房の悪性新生物	平成8年	16.8	217	245	272	278	306	1.00	1.13	1.25	1.28	1.41	
	平成17年	16.0	172	240	289	304	336	1.00	1.40	1.68	1.77	1.96	
	平成26年	22.2	235	326	448	522	588	1.00	1.39	1.91	2.22	2.50	
前立腺の悪性新生物	平成8年	5.0	73	80	82	84	84	1.00	1.09	1.13	1.15	1.16	
	平成17年	13.8	206	264	311	327	346	1.00	1.28	1.51	1.59	1.68	
	平成26年	18.6	235	336	482	570	637	1.00	1.43	2.05	2.42	2.71	
<b>III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	平成8年	31.1	351	425	461	465	494	1.00	1.21	1.31	1.32	1.41	
	平成17年	23.4	253	344	389	401	416	1.00	1.36	1.54	1.59	1.65	
	平成26年	19.1	236	353	417	431	466	1.00	1.50	1.77	1.83	1.98	
<b>IV 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	平成8年	323.9	4,308	5,093	5,370	5,421	5,603	1.00	1.18	1.25	1.26	1.30	
	平成17年	364.5	5,302	7,137	7,738	7,824	8,114	1.00	1.35	1.46	1.48	1.53	
	平成26年	416.1	6,959	10,137	11,519	11,802	12,389	1.00	1.46	1.66	1.70	1.78	
糖尿病	平成8年	189.4	2,500	2,918	3,049	3,067	3,140	1.00	1.17	1.22	1.23	1.26	
	平成17年	195.8	2,867	3,844	4,134	4,182	4,318	1.00	1.34	1.44	1.46	1.51	
	平成26年	215.5	3,626	5,266	5,893	6,029	6,285	1.00	1.45	1.63	1.66	1.73	
インスリン依存性糖尿病	平成8年	13.9	171	201	213	213	213	1.00	1.18	1.24	1.24	1.25	
	平成17年	20.4	281	368	389	391	398	1.00	1.31	1.38	1.39	1.41	
	平成26年	6.9	127	183	203	210	212	1.00	1.45	1.61	1.66	1.68	
インスリン非依存性糖尿病	平成8年	69.1	884	1,003	1,036	1,042	1,066	1.00	1.13	1.17	1.18	1.21	
	平成17年	109.9	1,636	2,118	2,231	2,245	2,290	1.00	1.29	1.36	1.37	1.40	
	平成26年	145.2	2,509	3,596	3,956	4,006	4,089	1.00	1.43	1.58	1.60	1.63	
その他の糖尿病	平成8年	106.3	1,444	1,713	1,800	1,812	1,861	1.00	1.19	1.25	1.25	1.29	
	平成17年	65.6	949	1,358	1,515	1,546	1,630	1.00	1.43	1.60	1.63	1.72	
	平成26年	63.4	990	1,486	1,735	1,813	1,983	1.00	1.50	1.75	1.83	2.00	
高脂血症	平成8年	85.8	1,125	1,306	1,358	1,363	1,399	1.00	1.16	1.21	1.21	1.24	
	平成17年	121.7	1,788	2,357	2,522	2,533	2,594	1.00	1.32	1.41	1.42	1.45	
	平成26年	138.6	2,392	3,401	3,812	3,866	4,008	1.00	1.42	1.59	1.62	1.68	
<b>V 精神及び行動の障害</b>	平成8年	149.8	1,816	2,065	2,153	2,159	2,227	1.00	1.14	1.19	1.19	1.23	
	平成17年	213.6	2,695	3,274	3,601	3,524	3,627	1.00	1.21	1.30	1.31	1.35	
	平成26年	243.1	3,376	4,312	4,638	4,687	4,883	1.00	1.28	1.37	1.39	1.45	
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	平成8年	46.7	587	653	672	673	695	1.00	1.11	1.14	1.15	1.18	
	平成17年	61.6	649	759	797	804	816	1.00	1.17	1.23	1.24	1.26	
	平成26年	67.9	706	879	927	934	953	1.00	1.24	1.31	1.32	1.35	
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	平成8年	36.7	479	532	556	556	579	1.00	1.11	1.16	1.16	1.21	
	平成17年	73.7	1,042	1,236	1,312	1,315	1,335	1.00	1.19	1.26	1.26	1.28	
	平成26年	79.3	1,264	1,563	1,652	1,667	1,737	1.00	1.24	1.31	1.32	1.37	
<b>VI 神経系の疾患</b>	平成8年	110.3	1,272	1,563	1,663	1,675	1,743	1.00	1.23	1.31	1.32	1.37	
	平成17年	130.7	1,560	2,098	2,359	2,415	2,542	1.00	1.34	1.51	1.55	1.63	
	平成26年	158.1	2,187	3,145	3,680	3,814	4,010	1.00	1.44	1.68	1.74	1.83	
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	平成8年	0.6	6	7	7	8	8	1.00	1.15	1.15	1.34	1.37	
	平成17年	0.7	6	9	10	11	12	1.00	1.41	1.60	1.79	1.84	
	平成26年	1.1	11	14	16	17	17	1.00	1.29	1.44	1.48	1.54	
パーキンソン病	平成8年	11.6	139	152	155	155	156	1.00	1.09	1.11	1.11	1.12	
	平成17年	12.6	152	197	212	213	217	1.00	1.30	1.40	1.40	1.43	
	平成26年	13.5	168	263	302	307	316	1.00	1.56	1.79	1.82	1.88	
てんかん	平成8年	22.2	362	468	515	523	558	1.00	1.29	1.42	1.44	1.54	
	平成17年	19.6	310	453	554	581	620	1.00	1.46	1.79	1.88	2.00	
	平成26年	17.2	285	440	578	637	696	1.00	1.55	2.03	2.24	2.45	



表1. 平均診療間隔算出の対象期間を変化させた場合の影響 (つづき)

傷病カテゴリー別	年次	推計再来患者数(千人)	再来外来患者数 (千人)					再来外来患者数の増減率				
			診療間隔 1~30	診療間隔 1~60	診療間隔 1~90	診療間隔 1~91	診療間隔 1~120	診療間隔 1~30	診療間隔 1~60	診療間隔 1~90	診療間隔 1~91	診療間隔 1~120
Ⅶ 眼及び付属器の疾患	平成8年	275.4	3,880	5,607	6,440	6,519	6,887	1.00	1.45	1.66	1.68	1.77
	平成17年	255.7	3,671	6,149	7,625	7,827	8,741	1.00	1.68	2.08	2.13	2.38
	平成26年	267.7	4,191	7,079	9,228	9,597	11,156	1.00	1.69	2.20	2.29	2.66
白内障	平成8年	113.4	1,826	2,595	2,900	2,931	3,050	1.00	1.42	1.59	1.61	1.67
	平成17年	91.0	1,480	2,411	2,868	2,933	3,175	1.00	1.63	1.94	1.98	2.14
	平成26年	66.7	984	1,726	2,234	2,312	2,622	1.00	1.75	2.27	2.35	2.66
Ⅷ 耳及び乳突突起の疾患	平成8年	116.8	676	781	836	842	880	1.00	1.16	1.24	1.25	1.30
	平成17年	88.3	607	754	835	848	897	1.00	1.24	1.38	1.40	1.48
	平成26年	72.7	656	900	1,008	1,030	1,104	1.00	1.37	1.54	1.57	1.68
Ⅸ 循環器系の疾患	平成8年	1092.4	13,269	14,835	15,186	15,217	15,410	1.00	1.12	1.14	1.15	1.16
	平成17年	913.6	12,641	15,851	16,705	16,797	17,148	1.00	1.25	1.32	1.33	1.36
	平成26年	897.7	15,132	20,535	22,635	22,927	23,546	1.00	1.36	1.50	1.52	1.56
本態性(原発性)高血圧(症)	平成8年	680.6	8,504	9,415	9,594	9,614	9,699	1.00	1.11	1.13	1.13	1.14
	平成17年	620.5	8,983	10,953	11,375	11,408	11,592	1.00	1.22	1.27	1.27	1.29
	平成26年	653.1	11,638	15,293	16,465	16,589	16,897	1.00	1.31	1.41	1.43	1.45
急性心筋梗塞	平成8年	7.5	112	129	131	132	134	1.00	1.15	1.17	1.18	1.19
	平成17年	2.7	42	58	61	61	63	1.00	1.37	1.46	1.46	1.50
	平成26年	2.6	34	55	66	67	69	1.00	1.62	1.93	1.96	2.02
脳血管疾患	平成8年	169.1	1,771	1,988	2,037	2,038	2,065	1.00	1.12	1.15	1.15	1.17
	平成17年	115.6	1,320	1,733	1,874	1,901	1,952	1.00	1.31	1.42	1.44	1.48
	平成26年	87.0	1,171	1,700	2,020	2,089	2,201	1.00	1.45	1.72	1.78	1.88
Ⅹ 呼吸器系の疾患	平成8年	561.0	4,077	4,757	5,144	5,178	5,549	1.00	1.17	1.26	1.27	1.36
	平成17年	470.0	3,870	5,000	5,548	5,587	5,950	1.00	1.29	1.43	1.44	1.54
	平成26年	402.8	4,101	5,739	6,450	6,534	7,007	1.00	1.40	1.57	1.59	1.71
インフルエンザ	平成8年	0.1	1	1	1	1	1	1.00	1.38	1.38	1.38	1.38
	平成17年	0.3	3	5	5	7	7	1.00	1.50	1.57	1.90	2.01
	平成26年	0.3	2	2	2	2	2	1.00	1.10	1.25	1.25	1.25
肺炎	平成8年	7.4	35	42	45	47	49	1.00	1.19	1.28	1.32	1.38
	平成17年	6.8	38	49	59	60	65	1.00	1.26	1.53	1.55	1.70
	平成26年	6.2	39	50	58	58	63	1.00	1.29	1.48	1.50	1.62
Ⅺ 消化器系の疾患	平成8年	426.7	4,509	5,363	5,706	5,729	5,957	1.00	1.19	1.27	1.27	1.32
	平成17年	278.8	3,124	4,122	4,662	4,625	4,884	1.00	1.32	1.46	1.48	1.66
	平成26年	241.6	3,132	4,537	5,249	5,368	5,811	1.00	1.45	1.68	1.71	1.86
クローン病	平成8年	1.2	16	19	20	20	20	1.00	1.24	1.26	1.27	1.32
	平成17年	1.0	13	18	20	21	22	1.00	1.38	1.51	1.56	1.65
	平成26年	1.4	21	37	43	44	48	1.00	1.75	2.04	2.08	2.27
潰瘍性大腸炎	平成8年	3.5	52	58	62	62	62	1.00	1.13	1.20	1.20	1.21
	平成17年	3.4	55	75	86	87	92	1.00	1.35	1.56	1.57	1.67
	平成26年	5.3	86	136	168	173	184	1.00	1.57	1.95	2.00	2.12
Ⅻ 皮膚及び皮下組織の疾患	平成8年	187.5	1,863	2,431	2,704	2,725	2,876	1.00	1.30	1.45	1.46	1.54
	平成17年	187.2	2,098	2,981	3,440	3,484	3,711	1.00	1.42	1.64	1.66	1.77
	平成26年	192.6	2,501	3,927	4,627	4,694	5,107	1.00	1.57	1.85	1.88	2.04
アトピー性皮膚炎	平成8年	27.0	360	486	545	549	570	1.00	1.35	1.51	1.52	1.58
	平成17年	29.4	438	621	753	765	802	1.00	1.42	1.72	1.75	1.83
	平成26年	32.0	520	811	946	953	1,044	1.00	1.56	1.82	1.83	2.01
Ⅼ 筋骨格系及び結合組織の疾患	平成8年	897.4	5,167	5,968	6,247	6,272	6,439	1.00	1.15	1.21	1.21	1.25
	平成17年	910.6	5,439	6,886	7,444	7,507	7,798	1.00	1.27	1.37	1.38	1.43
	平成26年	805.4	6,082	8,176	9,160	9,379	9,846	1.00	1.34	1.51	1.54	1.62
関節リウマチ	平成8年	36.2	372	431	449	452	462	1.00	1.16	1.21	1.21	1.24
	平成17年	32.5	369	483	512	515	527	1.00	1.31	1.39	1.40	1.43
	平成26年	28.4	394	598	680	698	717	1.00	1.52	1.73	1.77	1.82
全身性エリテマトーデス<SLE>	平成8年	3.3	54	60	63	63	66	1.00	1.12	1.17	1.18	1.22
	平成17年	2.9	53	71	76	77	80	1.00	1.34	1.45	1.46	1.52
	平成26年	2.8	42	68	81	82	86	1.00	1.61	1.92	1.95	2.03
Ⅽ 腎尿路生殖器系の疾患	平成8年	184.8	1,701	2,033	2,185	2,207	2,318	1.00	1.20	1.28	1.30	1.36
	平成17年	217.5	1,802	2,455	2,764	2,838	3,064	1.00	1.36	1.53	1.57	1.70
	平成26年	250.2	1,939	2,929	3,703	3,914	4,342	1.00	1.51	1.91	2.02	2.24
Ⅾ 妊娠,分娩及び産じょく	平成8年	15.7	168	200	208	208	209	1.00	1.19	1.24	1.24	1.25
	平成17年	12.2	135	150	154	154	156	1.00	1.11	1.14	1.14	1.15
	平成26年	12.7	137	149	154	154	163	1.00	1.09	1.13	1.13	1.19
Ⅿ 周産期に発生した病態	平成8年	1.4	18	24	28	30	33	1.00	1.32	1.51	1.55	1.79
	平成17年	1.7	20	29	36	38	50	1.00	1.43	1.77	1.86	2.45
	平成26年	2.3	28	39	51	54	60	1.00	1.41	1.84	1.92	2.15
ⅰ 先天奇形,変形及び染色体異常	平成8年	11.4	149	195	223	235	268	1.00	1.31	1.50	1.58	1.80
	平成17年	10.1	112	172	205	219	258	1.00	1.54	1.83	1.96	2.31
	平成26年	12.3	150	232	291	312	359	1.00	1.54	1.94	2.08	2.39
ⅱ 症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	平成8年	60.8	608	748	814	822	875	1.00	1.23	1.34	1.35	1.44
	平成17年	53.3	499	664	765	780	834	1.00	1.33	1.53	1.56	1.67
	平成26年	48.9	534	788	915	954	1,042	1.00	1.48	1.71	1.79	1.95
ⅲ 損傷,中毒及びその他の外因の影響	平成8年	257.2	1,088	1,260	1,345	1,356	1,412	1.00	1.16	1.24	1.25	1.30
	平成17年	239.9	1,087	1,323	1,453	1,470	1,555	1.00	1.22	1.34	1.35	1.43
	平成26年	245.9	1,323	1,684	1,886	1,930	2,037	1.00	1.27	1.43	1.46	1.54
ⅳ I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	平成8年	80.9	1,157	1,438	1,598	1,614	1,743	1.00	1.24	1.38	1.39	1.51
	平成17年	90.8	1,151	1,502	1,728	1,760	1,924	1.00	1.31	1.50	1.53	1.67
	平成26年	155.8	1,995	2,629	3,122	3,197	3,604	1.00	1.32	1.57	1.60	1.81

表2. 傷病別推計患者数の累積割合（再来患者カバー率）（前回診療日の記載がない患者を除く）

傷病カテゴリ別	年次	前回診療からの日数/推計患者数の累積割合									80パーセンタイル 90パーセンタイル 95パーセンタイル		
		1	10	20	30	60	90	120	150	180	日数	日数	日数
全傷病	平成8年	17.6%	53.1%	81.1%	91.2%	97.3%	98.5%	99.2%	99.5%	99.6%	19	27	41
	平成17年	13.6%	50.1%	70.9%	84.2%	94.8%	97.3%	98.6%	99.1%	99.4%	27	38	61
	平成26年	9.2%	41.0%	56.1%	74.4%	90.3%	95.0%	97.5%	98.2%	98.7%	34	58	89
I 感染症及び寄生虫症	平成8年	20.1%	63.5%	83.1%	91.5%	96.9%	98.3%	99.1%	99.4%	99.6%	16	27	41
	平成17年	12.6%	61.8%	77.1%	87.4%	95.6%	97.8%	99.0%	99.3%	99.5%	21	34	55
	平成26年	7.2%	49.2%	67.3%	79.9%	92.7%	96.4%	98.2%	98.6%	99.0%	30	52	76
II 新生物	平成8年	10.4%	37.4%	73.2%	86.6%	93.9%	96.1%	97.7%	98.4%	99.0%	27	35	75
	平成17年	10.1%	41.5%	61.4%	77.0%	88.4%	92.8%	96.1%	97.0%	98.1%	34	69	104
	平成26年	9.1%	37.2%	53.7%	67.4%	79.9%	86.8%	93.1%	94.4%	95.6%	60	95	166
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	平成8年	10.6%	44.2%	74.3%	87.9%	95.9%	97.8%	99.1%	99.4%	99.7%	26	34	49
	平成17年	10.6%	46.0%	67.5%	82.2%	94.2%	97.4%	98.9%	99.2%	99.5%	27	42	64
	平成26年	6.1%	35.8%	53.5%	70.3%	87.8%	93.8%	97.2%	98.1%	98.6%	41	64	95
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	平成8年	7.3%	31.5%	71.5%	87.9%	96.8%	98.3%	99.2%	99.6%	99.7%	27	33	46
	平成17年	5.0%	26.3%	54.6%	75.9%	94.5%	97.6%	99.0%	99.3%	99.5%	33	45	62
	平成26年	3.5%	19.5%	34.1%	61.2%	88.1%	95.0%	98.0%	98.5%	98.9%	43	62	90
V 精神及び行動の障害	平成8年	10.2%	34.5%	79.7%	92.3%	98.0%	99.0%	99.5%	99.7%	99.8%	20	27	36
	平成17年	11.2%	35.5%	69.2%	87.4%	96.8%	98.6%	99.3%	99.5%	99.7%	27	34	48
	平成26年	12.5%	35.8%	54.0%	81.9%	95.5%	97.9%	99.1%	99.3%	99.6%	28	41	55
VI 神経系の疾患	平成8年	13.6%	42.4%	72.6%	87.9%	96.9%	98.4%	99.2%	99.5%	99.7%	27	34	47
	平成17年	9.8%	39.8%	63.5%	80.5%	93.6%	97.1%	98.8%	99.2%	99.5%	29	44	67
	平成26年	6.5%	30.6%	48.7%	70.4%	89.4%	95.6%	98.4%	98.9%	99.2%	39	62	83
VII 眼及び付属器の疾患	平成8年	5.9%	24.8%	52.7%	70.4%	90.7%	96.2%	98.3%	99.0%	99.3%	39	56	80
	平成17年	3.9%	21.6%	35.1%	52.3%	78.9%	89.0%	94.8%	96.9%	98.0%	62	90	123
	平成26年	2.8%	15.5%	25.3%	41.5%	66.4%	80.2%	89.8%	93.1%	95.1%	89	121	178
VIII 耳及び乳様突起の疾患	平成8年	29.1%	78.3%	92.2%	95.9%	98.4%	99.1%	99.5%	99.6%	99.8%	11	16	27
	平成17年	17.9%	72.5%	85.6%	91.8%	96.6%	98.1%	98.8%	99.2%	99.4%	13	27	42
	平成26年	8.5%	57.9%	74.7%	84.4%	93.9%	96.3%	97.9%	98.4%	98.8%	26	41	67
IX 循環器系の疾患	平成8年	9.6%	37.2%	80.4%	93.5%	99.0%	99.5%	99.7%	99.8%	99.9%	19	27	33
	平成17年	6.6%	30.1%	63.2%	83.6%	97.1%	98.9%	99.5%	99.6%	99.7%	27	34	48
	平成26年	4.3%	21.5%	38.4%	69.2%	92.8%	97.6%	99.1%	99.3%	99.5%	34	55	64
X 呼吸器系の疾患	平成8年	16.4%	69.4%	87.6%	93.4%	96.9%	97.9%	98.7%	99.1%	99.4%	13	24	37
	平成17年	12.4%	63.1%	80.1%	88.3%	95.3%	97.2%	98.1%	98.7%	99.0%	19	34	56
	平成26年	7.8%	50.9%	67.9%	80.9%	92.7%	95.7%	97.3%	98.1%	98.6%	29	48	82
XI 消化器系の疾患	平成8年	13.5%	47.1%	79.4%	90.6%	97.2%	98.5%	99.2%	99.5%	99.7%	20	28	41
	平成17年	9.8%	43.3%	68.6%	83.1%	94.4%	97.1%	98.4%	99.0%	99.3%	27	41	62
	平成26年	6.0%	33.5%	53.3%	71.7%	89.3%	94.6%	97.5%	98.3%	98.8%	39	62	90
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	平成8年	15.2%	48.8%	75.5%	86.1%	95.3%	97.7%	98.7%	99.1%	99.4%	24	36	56
	平成17年	9.4%	42.3%	63.3%	78.2%	92.4%	96.6%	98.2%	98.9%	99.3%	32	51	75
	平成26年	5.3%	30.4%	48.1%	65.2%	87.1%	93.4%	96.5%	97.8%	98.5%	46	72	100
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	平成8年	34.5%	77.6%	91.9%	96.4%	99.0%	99.5%	99.7%	99.8%	99.9%	11	16	27
	平成17年	27.4%	77.0%	87.8%	93.6%	98.1%	99.1%	99.5%	99.7%	99.8%	13	23	34
	平成26年	18.0%	68.0%	79.7%	88.7%	96.1%	98.1%	99.2%	99.4%	99.6%	20	33	55
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	平成8年	8.0%	55.4%	80.6%	91.0%	96.8%	98.1%	98.9%	99.2%	99.5%	19	27	41
	平成17年	5.2%	59.6%	74.9%	86.1%	94.5%	96.7%	98.3%	98.7%	99.1%	27	36	62
	平成26年	4.3%	58.3%	68.3%	79.5%	89.7%	94.4%	97.4%	98.3%	98.8%	31	62	90
XV 妊娠、分娩及び産じょく	平成8年	9.9%	50.2%	80.8%	92.2%	99.0%	99.8%	99.9%	99.9%	99.9%	19	27	36
	平成17年	5.2%	52.6%	81.8%	94.6%	98.7%	99.2%	99.4%	99.5%	99.7%	18	27	32
	平成26年	4.2%	51.4%	83.9%	94.4%	97.5%	98.1%	98.9%	99.4%	99.6%	16	25	33
XVI 周産期に発生した病態	平成8年	5.1%	37.8%	57.8%	76.5%	88.8%	92.8%	97.3%	97.6%	98.2%	36	62	90
	平成17年	5.6%	38.7%	54.8%	68.4%	80.8%	87.3%	95.9%	96.9%	97.5%	55	102	118
	平成26年	5.1%	36.6%	49.3%	64.5%	77.8%	85.9%	90.3%	94.3%	96.1%	65	111	160
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	平成8年	6.4%	32.3%	56.6%	72.9%	85.5%	89.2%	93.8%	95.3%	96.9%	40	90	145
	平成17年	9.3%	38.5%	53.0%	65.6%	80.7%	85.9%	91.8%	93.6%	95.1%	56	107	178
	平成26年	7.0%	31.6%	47.8%	61.2%	77.9%	85.5%	92.2%	93.9%	95.1%	62	104	177
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	平成8年	15.6%	50.3%	78.2%	88.8%	95.8%	97.5%	98.7%	99.1%	99.4%	20	34	55
	平成17年	15.4%	54.4%	72.7%	84.2%	93.3%	96.3%	97.8%	98.4%	99.0%	27	41	76
	平成26年	8.4%	42.2%	60.6%	74.3%	88.9%	93.2%	96.4%	97.5%	98.1%	35	62	97
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	平成8年	47.3%	85.6%	94.2%	97.1%	98.9%	99.4%	99.6%	99.7%	99.8%	6	13	20
	平成17年	39.9%	84.5%	92.1%	95.6%	98.3%	99.1%	99.5%	99.7%	99.8%	6	14	27
	平成26年	31.2%	79.9%	88.7%	93.3%	97.2%	98.5%	99.2%	99.4%	99.5%	10	20	39
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	平成8年	3.2%	28.6%	57.5%	78.4%	90.4%	93.7%	95.8%	96.7%	97.9%	32	57	102
	平成17年	4.2%	36.4%	61.0%	77.7%	89.7%	93.6%	96.1%	97.4%	97.9%	33	61	99
	平成26年	5.1%	34.1%	56.0%	73.4%	85.6%	90.6%	94.1%	95.4%	96.8%	40	85	139

表3. 患者調査における在院患者平均入院期間(年次・傷病別)

傷病カテゴリー別		在院患者平均入院期間						
		平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年
<b>全傷病</b>	<b>全傷病</b>	<b>995.4</b>	<b>993.9</b>	<b>989.1</b>	<b>960.5</b>	<b>941.6</b>	<b>936.5</b>	<b>864.9</b>
<b>I 感染症及び寄生虫症</b>	<b>I 感染症及び寄生虫症</b>	<b>1338.4</b>	<b>1621.9</b>	<b>2298.5</b>	<b>2364.3</b>	<b>2050.0</b>	<b>2130.3</b>	<b>1748.5</b>
	原因の明示された腸管感染症	62.2	66.9	118.3	141.7	45.5	99.0	40.4
	感染症と推定される下痢及び胃腸炎	16.4	19.6	20.3	21.6	38.8	70.4	35.9
	呼吸器結核	352.2	219.5	172.3	153.6	215.0	226.2	114.0
	その他の結核	384.3	336.2	350.5	632.5	277.6	360.2	454.9
	百日咳	170.7	659.0	1328.4	4125.6	1214.6	2334.6	586.2
	敗血症	89.8	81.5	79.2	91.7	73.4	121.1	79.7
	その他の細菌性疾患	8796.8	7423.1	11192.6	10638.3	9254.5	8882.9	5621.5
	梅毒	5208.5	4601.6	4164.4	3924.4	3117.8	3876.7	3205.6
	主として性的伝播様式をとるその他の感染症	8.9	13.1	31.5	6.6	16.8	35.0	3.4
	ヘルペスウイルス感染症	122.2	108.6	161.0	245.0	274.5	367.7	221.1
	水痘	92.1	3.9	308.7	24.3	266.1	139.9	448.5
	帯状疱疹	33.9	2.1	29.8	71.8	39.3	43.4	43.8
	麻疹	651.1	1346.2	567.8	1299.8	3674.8	7805.2	9775.3
	風疹	1922.8	5.6	10808.0	3215.6	1538.3	2975.9	7.9
	皮膚及び粘膜の病変を伴うその他のウイルス疾患	7.9	19.9	38.9	2.7	4.5	10.0	2.3
	B型ウイルス肝炎	127.3	191.8	81.6	56.1	46.1	96.7	261.6
	C型ウイルス肝炎	128.8	252.0	118.4	134.0	160.8	236.5	280.2
	その他のウイルス肝炎	133.9	155.6	69.6	144.8	21.4	230.2	91.8
	ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病	139.7	93.0	60.0	113.2	198.4	193.8	205.9
	ムンプス	4.2	5.0	2.5	2.6	5.5	5.3	1.8
	その他のウイルス疾患	443.2	283.9	409.1	404.0	449.2	481.2	593.3
	皮膚糸状菌症	1086.0	850.9	80.3	311.1	690.3	33.7	612.4
	カンジダ症	148.9	35.8	188.4	155.3	109.6	80.3	88.6
	その他の真菌症	246.6	113.7	145.7	108.5	88.2	141.3	85.4
	結核の続発・後遺症	1072.3	1188.1	1566.1	1457.2	1680.1	2405.3	2656.9
	その他の感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	11969.8	13988.5	13547.8	14551.7	13498.8	14379.3	16430.6
	その他の感染症及び寄生虫症	54.5	112.3	68.5	103.5	123.2	93.1	40.4
<b>II 新生物</b>	<b>II 新生物</b>	<b>85.0</b>	<b>77.1</b>	<b>67.6</b>	<b>63.4</b>	<b>73.4</b>	<b>93.6</b>	<b>72.8</b>
	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	70.3	77.7	65.5	63.1	78.3	79.1	77.5
	食道の悪性新生物	95.1	73.0	56.2	53.0	50.6	53.3	63.5
	胃の悪性新生物	88.3	78.6	66.8	61.6	68.7	95.4	72.4
	結腸の悪性新生物	92.5	82.6	64.7	67.2	79.4	118.9	73.6
	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	88.0	68.4	66.7	62.6	67.5	102.2	69.0
	肛門及び肛門管の悪性新生物	102.8	86.7	254.9	116.6	133.4	139.2	69.6
	肝及び肝内胆管の悪性新生物	54.1	51.0	51.5	37.6	49.7	65.9	52.6
	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	70.5	61.2	63.3	59.8	69.0	101.2	68.6
	膵の悪性新生物	78.7	66.1	56.9	54.8	47.6	65.8	46.9
	その他の消化器の悪性新生物	110.4	341.9	71.3	70.3	57.0	218.3	41.5
	喉頭の悪性新生物	62.8	77.6	71.2	69.5	117.6	114.2	73.9
	気管、気管支及び肺の悪性新生物	73.8	67.6	62.4	56.3	64.8	70.5	43.2
	その他の呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	155.6	76.6	75.9	46.2	116.2	88.6	62.6
	骨及び関節軟骨の悪性新生物	112.2	136.9	127.1	94.8	124.2	118.5	106.6
	皮膚の悪性黒色腫	44.0	39.8	30.1	40.0	23.8	64.7	83.2
	その他の皮膚の悪性新生物	137.9	80.8	171.8	68.9	102.1	98.1	45.8
	中皮及び軟部組織の悪性新生物	82.5	72.6	64.4	62.7	60.3	79.6	35.9
	乳房の悪性新生物	69.9	61.5	54.2	61.3	72.2	85.3	86.3
	子宮頸(部)の悪性新生物	63.1	101.7	63.9	41.0	64.2	79.4	43.4
	子宮体(部)の悪性新生物	60.5	45.7	39.0	34.6	49.4	48.2	35.2
	子宮の部位不明の悪性新生物	176.2	173.5	145.3	156.3	150.3	186.2	659.4
	卵巣の悪性新生物	66.2	66.5	58.9	50.7	26.6	68.4	28.2
	その他の女性生殖器の悪性新生物	88.2	55.6	82.1	62.9	43.1	64.4	85.1
	前立腺の悪性新生物	122.0	99.9	76.5	81.4	95.7	116.8	103.3
	その他の男性生殖器の悪性新生物	51.5	43.8	44.5	56.6	46.4	99.0	61.0
	腎及び腎盂の悪性新生物	83.1	65.4	54.2	53.4	51.5	62.8	71.1
	膀胱の悪性新生物	109.9	71.4	60.5	56.8	71.4	93.4	60.8
	その他の尿路の悪性新生物	52.0	51.3	39.0	47.5	25.5	56.9	52.2
	眼及び付属器の悪性新生物	25.9	30.8	48.3	118.2	9.8	25.3	33.6
	中枢神経系の悪性新生物	212.7	230.3	129.3	136.6	122.2	126.7	126.9
	甲状腺の悪性新生物	106.2	134.7	94.3	79.0	76.0	153.3	80.9
	ホジキン病	74.6	79.8	77.2	110.2	44.3	41.7	51.6
	非ホジキンリンパ腫	91.4	82.1	76.3	70.9	71.1	83.1	63.1
	白血病	103.6	90.8	86.3	78.4	88.4	83.9	67.9
	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	123.6	84.7	83.5	86.6	113.6	76.3	78.8
	その他の悪性新生物	88.4	96.0	62.5	60.0	56.3	77.2	59.5
	子宮頸(部)の上皮内癌	13.8	7.3	15.7	5.1	3.2	3.0	3.2
	その他の上皮内新生物	12.1	66.1	131.3	65.0	10.0	43.1	19.3

表3. 患者調査における在院患者平均入院期間(年次・傷病別)つづき

傷病カテゴリー別		在院患者平均入院期間							
		平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年	
II 新生物	皮膚の良性新生物	15.8	15.3	74.6	15.4	32.5	13.1	3.5	
	乳房の良性新生物	16.6	19.3	596.3	4.3	4.7	1.8	4.6	
	子宮平滑筋腫	14.8	11.2	9.8	7.2	24.9	34.8	18.0	
	卵巣の良性新生物	17.3	17.0	12.6	7.7	11.0	14.5	23.3	
	腎尿路の良性新生物	46.1	19.3	34.7	26.4	101.0	57.8	31.0	
	中枢神経系のその他の新生物	252.4	231.0	236.0	233.5	306.8	379.0	384.7	
	その他の新生物	62.4	52.8	45.2	43.4	61.7	97.4	81.2	
		<b>III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	<b>129.7</b>	<b>161.2</b>	<b>113.1</b>	<b>133.8</b>	<b>129.4</b>	<b>143.2</b>	<b>118.0</b>
	鉄欠乏性貧血	171.8	208.1	129.8	170.2	180.9	134.8	98.2	
	その他の貧血	138.7	182.7	109.2	102.1	132.0	152.4	121.3	
	出血性の病態並びにその他の血液及び造血器の疾患	100.8	122.1	92.8	166.4	96.9	140.2	114.1	
	免疫機構の障害	125.3	85.5	207.1	133.4	216.3	116.7	174.7	
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	<b>IV 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	<b>286.1</b>	<b>313.5</b>	<b>260.6</b>	<b>261.5</b>	<b>312.9</b>	<b>369.4</b>	<b>348.5</b>	
	甲状腺中毒症	165.8	155.0	79.4	103.7	167.8	368.8	212.2	
	甲状腺炎	102.5	145.5	359.4	241.3	457.6	926.2	365.3	
	その他の甲状腺障害	376.1	499.7	410.9	514.8	732.5	700.1	741.0	
	インスリン依存性糖尿病	298.8	295.3	270.0	290.1	369.6	615.2	382.0	
	インスリン非依存性糖尿病	351.7	290.1	251.7	253.2	268.0	313.8	316.7	
	その他の糖尿病	243.6	267.4	246.5	251.1	366.8	434.0	485.2	
	卵巣機能障害	12.5	10.2	8.5	4.5	3.3	6.8	23.9	
	栄養失調(症)及びビタミン欠乏症	348.6	377.3	311.9	338.0	428.0	429.2	392.9	
	肥満(症)	108.0	213.0	82.6	70.9	159.8	79.2	75.7	
	高脂血症	627.9	1527.3	355.1	525.0	769.0	409.8	1371.5	
	体液量減少(症)	60.8	42.2	53.3	65.8	77.8	127.0	106.7	
	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	480.4	632.1	476.0	383.2	310.4	361.8	374.5	
	V 精神及び行動の障害	<b>V 精神及び行動の障害</b>	<b>3113.1</b>	<b>2994.1</b>	<b>2925.2</b>	<b>2837.4</b>	<b>2787.6</b>	<b>2655.4</b>	<b>2592.5</b>
		血管性及び詳細不明の認知症	922.9	984.3	1054.9	1101.4	1132.9	1128.5	1102.4
アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害		1146.8	1133.6	1172.7	1025.3	1157.3	1128.6	1027.4	
その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害		869.7	857.4	1063.2	972.0	1120.7	1212.6	923.4	
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害		3875.5	3848.9	3832.7	3735.4	3598.5	3463.3	3364.6	
気分【感情】障害(躁うつ病を含む)		1052.6	935.7	925.6	825.3	827.8	808.8	805.0	
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害		1011.5	945.1	742.4	738.3	655.3	621.8	561.7	
知的障害<精神遅滞>		4867.5	5015.2	5082.7	5435.8	5431.3	5151.1	4695.6	
その他の精神及び行動の障害		2439.6	2337.9	2184.8	2040.7	1898.3	1669.7	1672.7	
VI 神経系の疾患		<b>VI 神経系の疾患</b>	<b>1850.0</b>	<b>1858.2</b>	<b>1735.4</b>	<b>1560.8</b>	<b>1558.8</b>	<b>1658.1</b>	<b>1566.4</b>
		髄膜炎	172.5	118.3	81.5	182.8	202.3	127.7	271.7
		中枢神経系の炎症性疾患	3074.0	3439.8	3616.3	2820.7	2747.5	2859.9	3141.7
	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1532.2	1323.7	1235.8	1002.3	1122.9	1085.6	1047.1	
	パーキンソン病	591.5	565.7	561.4	619.3	689.0	779.2	771.7	
	アルツハイマー病	765.9	828.4	787.5	777.7	827.4	859.6	821.4	
	多発性硬化症	676.8	567.9	467.2	533.4	563.7	731.9	813.9	
	てんかん	2974.4	2907.3	2779.9	2487.0	2229.4	2166.4	2193.5	
	片頭痛及びその他の頭痛症候群	89.4	188.2	16.5	15.6	31.2	6.9	47.5	
	一過性脳虚血発作及び関連症候群	123.0	97.5	106.4	127.8	94.5	87.7	136.9	
	睡眠障害	623.7	272.0	46.5	112.7	152.4	91.2	64.9	
	神経、神経根及び神経そうの障害	278.8	389.3	287.2	338.6	284.4	274.2	266.9	
	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3674.3	4062.6	5008.3	5033.7	5577.6	6304.3	6580.5	
	自律神経系の障害	191.5	417.9	302.6	535.9	485.1	649.3	639.7	
	その他の神経系の疾患	1173.6	1196.9	1015.1	1020.6	1043.2	1138.4	1194.2	
	VII 眼及び付属器の疾患	<b>VII 眼及び付属器の疾患</b>	<b>113.2</b>	<b>150.4</b>	<b>24.2</b>	<b>47.8</b>	<b>37.7</b>	<b>58.4</b>	<b>60.7</b>
		麦粒腫及び霰粒腫	11.5	83.2	20.4	3.0	3.7	9.8	39.1
		涙器の障害	35.2	4.3	9.4	5.2	4.3	1.8	4.4
		結膜炎	156.8	10.1	55.0	19.9	257.9	13.6	449.5
		角膜炎	570.8	390.7	38.1	29.1	18.5	17.4	39.1
		白内障	109.3	151.8	8.8	14.6	22.0	21.9	31.3
網膜剥離及び裂孔		19.3	16.3	10.7	9.5	10.8	55.5	6.8	
網膜血管閉塞症		66.1	70.4	10.4	7.4	113.1	5.6	16.4	
緑内障		174.0	308.3	51.1	66.9	14.7	42.5	150.1	
斜視		48.8	61.7	29.4	54.3	124.6	128.7	137.7	
屈折及び調節の障害		65.4	155.5	16.3	6.7	13.1	7.8	9.4	
盲<失明>及び低視力		1127.3	1376.8	873.5	1461.7	1057.7	3520.1	2874.1	
その他の眼及び付属器の疾患		84.6	136.0	71.0	155.0	71.1	117.8	128.5	
VIII 耳及び乳様突起の疾患		<b>VIII 耳及び乳様突起の疾患</b>	<b>108.2</b>	<b>122.9</b>	<b>100.8</b>	<b>62.4</b>	<b>43.7</b>	<b>43.4</b>	<b>82.7</b>
		外耳炎	9.9	425.2	38.5	39.8	28.2	39.5	345.1
		耳垢栓塞	3.7	3.0	0.0	16.0	4.8	13.0	8.0

表3. 患者調査における在院患者平均入院期間(年次・傷病別)つづき

傷病カテゴリ別		在院患者平均入院期間							
		平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年	
Ⅶ 耳及び乳様突起の疾患	その他の外耳疾患	13.0	8.0	4.2	4.1	52.7	2.5	11.8	
	中耳炎	13.0	119.5	31.4	17.9	9.9	13.8	6.5	
	耳管閉塞	5.3	0.0	3.0	1.0	0.0	7.0	3.1	
	中耳真珠腫	15.9	13.2	12.5	12.5	54.7	6.8	4.7	
	その他の中耳及び乳様突起の疾患	24.3	1047.1	9.5	5.4	4.3	34.0	3.9	
	メニエール病	174.7	122.8	203.5	149.9	190.6	137.7	336.3	
	中枢性めまい	13.1	145.3	9.3	14.9	5.6	163.7	20.6	
	その他の内耳疾患	345.1	100.5	80.7	10.3	9.7	40.7	10.8	
	難聴	103.1	161.6	107.0	79.5	8.1	21.1	13.3	
	その他の耳疾患	7.1	95.6	4.1	11.5	8.0	30.2	3294.4	
	Ⅸ 循環器系の疾患	<b>Ⅸ 循環器系の疾患</b>	<b>514.6</b>	<b>517.4</b>	<b>490.0</b>	<b>492.8</b>	<b>512.7</b>	<b>533.4</b>	<b>461.1</b>
本態性(原発性)高血圧(症)		661.7	732.6	476.4	545.1	607.4	622.2	538.4	
高血圧性心疾患		759.8	774.0	756.7	771.6	748.0	688.2	365.5	
高血圧性腎疾患		724.3	335.8	163.7	48.6	92.1	48.6	41.1	
高血圧性心腎疾患		144.9	1622.2	477.0	4.0	13.3	312.9	501.6	
二次性高血圧症		501.6	466.8	479.5	517.2	630.0	837.4	852.0	
狭心症		260.5	244.8	166.5	173.2	132.9	158.4	118.7	
急性心筋梗塞		130.8	115.4	91.0	82.4	95.9	121.4	91.6	
冠動脈硬化症		1033.8	949.6	937.3	494.5	333.8	141.9	64.4	
陈旧性心筋梗塞		210.6	232.6	213.5	233.5	291.5	272.5	229.9	
その他の虚血性心疾患		836.2	949.6	752.1	593.2	646.8	372.7	403.6	
慢性リウマチ性心疾患		252.7	176.4	194.4	159.3	168.0	176.8	114.9	
慢性非リウマチ性心内膜疾患		275.1	238.0	241.1	156.6	167.3	136.9	126.5	
心筋症		193.1	225.1	157.8	211.9	216.6	214.0	263.8	
不整脈及び伝導障害		248.0	219.3	166.2	164.2	175.9	245.8	132.0	
心不全		290.0	303.0	265.4	258.4	286.0	300.1	260.2	
その他の心疾患		515.8	321.0	185.6	152.5	144.0	144.5	106.2	
くも膜下出血		428.1	439.5	455.8	544.4	660.9	731.1	807.3	
脳内出血		513.2	517.6	532.4	560.8	634.5	704.3	682.3	
脳梗塞		564.9	594.7	598.0	593.9	620.9	650.6	530.6	
脳動脈硬化(症)		1139.1	1595.1	1701.9	1947.5	2061.0	1628.8	924.2	
その他の脳血管疾患		863.2	685.9	547.6	488.7	430.5	466.4	462.5	
肺塞栓症		108.3	127.2	116.1	181.2	288.8	245.5	209.7	
動脈硬化(症)		284.2	288.3	226.6	192.3	219.4	189.5	137.3	
大動脈瘤及び解離		117.2	122.7	97.6	101.2	120.0	134.4	112.9	
レイノー症候群		45.9	109.8	44.5	87.7	19.4	129.2	26.0	
動脈の塞栓症及び血栓症		276.6	283.8	152.2	207.7	260.0	221.7	109.7	
その他の動脈、細動脈及び毛細血管の疾患		250.5	122.6	115.5	132.7	111.2	193.3	94.0	
静脈炎、血栓(性)静脈炎並びに静脈の塞栓症及び血栓症		111.5	113.5	82.3	95.4	117.9	153.2	148.7	
下肢の静脈瘤		13.5	69.3	31.1	11.0	28.7	133.1	14.9	
痔核		54.4	45.6	25.7	28.9	31.1	20.2	34.8	
食道静脈瘤		61.4	57.6	25.7	25.6	50.7	64.9	146.8	
低血圧(症)		325.4	347.1	146.2	173.3	162.4	92.4	282.9	
その他の循環器系の疾患		195.8	241.1	156.0	129.8	130.7	210.1	120.2	
Ⅹ 呼吸器系の疾患		<b>Ⅹ 呼吸器系の疾患</b>	<b>168.1</b>	<b>140.0</b>	<b>113.1</b>	<b>113.7</b>	<b>142.7</b>	<b>177.4</b>	<b>153.5</b>
		急性鼻咽頭炎[かぜ]＜感冒＞	1032.7	12.3	37.6	6.0	18.3	4.4	6.1
		急性副鼻腔炎	6.1	9.8	5.7	12.3	3.9	6.7	18.9
		急性咽喉炎及び急性扁桃炎	17.2	15.4	6.3	5.9	26.8	6.7	29.0
		急性喉頭炎及び気管炎	6.7	8.8	4.2	13.8	3.9	1.9	266.2
		その他の急性上気道感染症	18.0	12.1	14.5	12.1	19.2	10.7	22.8
		肺炎	61.2	62.8	56.5	69.1	85.1	122.3	97.7
		急性気管支炎	24.7	35.6	24.5	25.6	34.2	55.2	73.7
		急性細気管支炎	2.5	43.8	24.0	57.7	3.4	22.9	4.8
		アレルギー性鼻炎	46.8	59.3	6.3	7.3	8.4	7.3	633.6
		慢性副鼻腔炎	12.5	88.6	72.4	5.7	6.9	38.8	15.4
		その他の鼻及び副鼻腔の疾患	8.1	8.5	6.2	6.7	4.6	20.2	410.0
		扁桃及びアデノイドの慢性疾患	4.7	7.8	4.8	5.5	34.1	5.3	3.4
	その他の上気道の疾患	13.4	20.6	46.5	74.4	66.0	51.0	65.0	
	急性又は慢性と明示されない気管支炎	59.5	60.6	48.0	53.8	63.9	37.3	140.0	
	慢性閉塞性肺疾患	366.9	317.3	267.9	297.7	377.0	455.1	418.4	
	喘息	210.6	197.2	161.2	143.0	214.9	226.0	238.7	
	気管支拡張症	509.2	289.3	287.3	233.9	175.5	267.8	157.8	
	じん肺(症)	521.5	491.9	363.1	387.4	233.6	334.4	390.4	
	間質性肺疾患	158.0	100.7	99.3	116.7	122.3	140.5	115.8	
	気胸	18.4	34.5	21.7	28.7	31.4	76.8	23.2	
	その他の呼吸器系の疾患	267.7	206.4	168.5	165.2	188.7	209.9	164.2	
	Ⅺ 消化器系の疾患	<b>Ⅺ 消化器系の疾患</b>	<b>129.8</b>	<b>138.5</b>	<b>84.2</b>	<b>96.2</b>	<b>85.0</b>	<b>129.5</b>	<b>84.2</b>
		う蝕	631.7	365.8	1148.4	883.0	1039.8	756.8	16.2
		歯肉炎及び歯周疾患	189.1	3141.7	210.5	3398.2	656.1	2261.4	4.0

表3. 患者調査における在院患者平均入院期間(年次・傷病別)つづき

傷病カテゴリ別	在院患者平均入院期間								
	平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年		
X I 消化器系の疾患	その他の歯及び歯の支持組織の障害	72.1	63.9	109.4	12.4	61.6	84.2	18.0	
	口内炎及び関連疾患	320.2	46.8	18.1	15.0	18.0	15.9	27.2	
	その他の口腔、唾液腺及び顎の疾患	14.8	158.4	252.5	368.5	44.7	14.2	99.9	
	胃潰瘍	125.0	119.4	88.4	99.7	108.1	185.5	110.5	
	十二指腸潰瘍	76.3	114.7	44.1	34.5	91.6	103.1	45.9	
	部位不明の消化性潰瘍	108.8	144.5	41.9	114.4	166.1	232.8	533.5	
	胃炎及び十二指腸炎	388.6	502.8	154.5	185.9	177.2	260.1	173.8	
	その他の食道、胃及び十二指腸の疾患	202.4	176.5	95.9	142.9	179.5	193.6	163.2	
	虫垂の疾患	9.2	9.3	9.6	16.6	12.5	29.9	13.7	
	鼠径ヘルニア	11.4	30.8	12.4	12.4	7.1	37.2	30.8	
	その他のヘルニア	73.0	89.2	62.5	56.1	167.6	91.6	93.1	
	クローン病	101.0	51.8	53.5	49.7	71.8	82.8	100.4	
	潰瘍性大腸炎	94.4	67.2	68.3	67.0	74.5	118.6	112.3	
	腸閉塞	61.0	58.6	51.0	47.5	60.1	103.3	75.2	
	過敏性腸症候群	194.4	182.2	264.2	89.0	106.3	40.7	96.6	
	便秘	671.8	472.9	81.5	47.5	118.9	95.6	57.1	
	裂肛及び痔瘻	22.2	12.3	12.0	10.2	15.8	8.1	7.0	
	その他の胃腸の疾患	74.8	97.4	69.6	94.9	40.8	72.2	50.4	
	腹膜炎の疾患	138.9	62.0	49.1	55.8	47.5	120.3	59.5	
	アルコール性肝疾患	123.4	91.6	86.6	103.8	114.4	186.2	112.4	
	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	384.1	302.2	294.7	251.5	424.5	965.7	712.1	
	肝硬変(アルコール性のものを除く)	208.8	241.8	174.7	151.4	154.7	310.3	161.7	
	その他の肝疾患	156.6	143.1	101.8	139.1	104.3	115.7	139.3	
	胆石症	67.3	66.4	38.8	47.9	69.2	106.7	70.7	
	胆のう炎	60.8	65.1	43.0	53.9	53.7	92.0	93.7	
	急性膵炎	43.7	220.7	41.7	37.3	56.3	73.1	43.8	
	慢性膵炎	277.2	272.3	105.5	117.9	144.0	319.3	192.0	
	その他の膵疾患	71.3	92.2	42.9	38.9	40.2	74.7	34.7	
	その他の消化器系の疾患	61.9	70.6	55.6	50.0	67.9	85.5	75.9	
	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	<b>X II 皮膚及び皮下組織の疾患</b>	<b>179.7</b>	<b>123.4</b>	<b>89.4</b>	<b>88.2</b>	<b>135.5</b>	<b>167.7</b>	<b>152.1</b>
		皮膚及び皮下組織の感染症	38.4	31.7	33.2	34.8	87.6	87.6	43.8
		アトピー性皮膚炎	61.5	93.6	66.7	41.0	22.1	13.7	55.4
		接触皮膚炎	239.4	52.9	8.2	16.7	141.6	238.9	5.5
		その他の皮膚炎及び湿疹	88.5	142.6	105.1	26.2	109.3	121.2	105.6
		乾せん及びその他の丘疹落せつ性障害	63.4	118.6	233.7	37.9	66.4	125.4	361.1
		じんま疹	252.2	8.4	47.6	77.7	12.9	116.1	277.2
		爪の障害	7.2	11.0	21.6	8.9	22.2	41.7	3.4
		脱毛症	2.7	16.3	25.0	4.2	164.4	0.0	13.0
		ざ瘡<アクネ>	776.2	71.4	73.8	65.3	307.9	182.0	170.2
		色素異常症	1716.6	5144.1	8.4	4.3	315.7	1.1	1154.8
	うおめ及びべんち	4732.7	8.5	72.2	5.9	13.5	24.0	3.7	
	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	223.7	181.1	122.9	133.0	160.2	196.9	225.1	
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	<b>X III 筋骨格系及び結合組織の疾患</b>	<b>256.8</b>	<b>246.0</b>	<b>233.1</b>	<b>242.8</b>	<b>235.1</b>	<b>251.4</b>	<b>218.6</b>	
	関節リウマチ	456.8	433.9	413.0	455.2	414.6	474.7	323.7	
	痛風	110.6	80.3	31.4	100.2	198.3	41.1	262.3	
	その他の炎症性多発性関節障害	300.9	180.5	98.2	113.1	120.4	111.9	160.1	
	関節症	203.1	190.5	183.0	179.2	138.7	145.7	113.4	
	四肢の後天性変形	68.0	80.2	30.8	101.5	137.9	117.5	22.5	
	膝内障	81.7	31.3	79.3	51.7	19.7	168.8	32.2	
	関節痛	338.7	562.8	132.4	56.2	63.2	183.4	373.0	
	その他の関節障害	124.6	128.5	151.7	123.9	135.6	175.3	206.5	
	全身性エリテマトーデス<SLE>	159.8	181.1	116.0	208.4	189.7	255.1	308.9	
	乾燥症候群[シェーグレン症候群]	444.6	387.6	490.3	809.4	504.6	744.3	987.5	
	ベーチェット病	669.6	538.3	473.3	731.2	1133.5	1009.2	650.5	
	その他の全身性結合組織障害	182.0	153.6	132.3	129.9	165.6	214.7	153.7	
	脊椎障害(脊椎症を含む)	261.5	250.1	274.2	260.1	275.2	281.7	227.7	
	椎間板障害	81.2	72.7	51.1	78.2	78.1	89.4	92.1	
	頸腕症候群	279.8	283.2	112.1	45.5	164.2	48.2	10.3	
	腰痛症及び坐骨神経痛	184.5	206.3	153.5	137.6	219.1	194.6	211.9	
	その他の背部痛	45.0	248.0	107.4	102.7	17.9	146.8	539.5	
	その他の脊柱障害	145.5	129.3	194.2	166.0	140.9	88.8	119.3	
	軟部組織障害	332.3	399.7	321.4	330.3	332.0	362.1	354.5	
	肩の傷害<損傷>	850.6	138.4	100.5	115.0	71.6	161.9	207.9	
	骨粗しょう症	541.1	591.7	498.0	595.0	679.8	530.0	703.9	
	その他の骨の密度及び構造の障害	99.8	198.1	146.2	100.5	97.3	99.0	53.1	
	骨髄炎	159.7	116.1	160.3	161.2	139.7	394.2	423.0	
	若年性骨軟骨症<骨端症>	377.8	320.6	282.7	317.7	359.7	241.5	220.9	
	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	130.0	169.4	122.3	115.3	124.5	157.0	124.7	

表3. 患者調査における在院患者平均入院期間(年次・傷病別)つづき

傷病カテゴリー別		在院患者平均入院期間							
		平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年	
XIV 腎 尿路生殖器系の疾患	<b>XIV 腎尿路生殖器系の疾患</b>	<b>226.4</b>	<b>214.9</b>	<b>233.3</b>	<b>222.7</b>	<b>229.3</b>	<b>267.6</b>	<b>243.2</b>	
	急性及び急速進行性腎炎症候群	30.3	30.2	35.9	31.1	54.8	38.0	74.2	
	ネフローゼ症候群	132.2	140.9	66.2	73.8	86.9	116.4	65.6	
	その他の糸球体疾患	204.0	267.8	93.3	134.2	215.0	103.7	69.3	
	腎尿細管間質性疾患	63.2	57.3	41.1	38.3	56.8	120.3	66.4	
	慢性腎不全	365.1	345.3	366.4	352.1	358.3	395.2	398.3	
	その他の腎不全	210.3	172.4	179.6	124.4	106.8	162.3	119.7	
	尿路結石症	46.4	47.5	29.9	43.4	65.5	129.0	50.2	
	膀胱炎	203.3	144.7	188.6	133.8	115.3	201.2	104.3	
	その他の腎尿路系の疾患	167.2	140.0	80.2	105.9	87.3	101.8	103.0	
	前立腺肥大(症)	139.7	85.1	52.5	63.0	54.0	93.9	137.4	
	その他の男性生殖器の疾患	26.9	31.8	9.5	21.7	81.5	39.7	16.9	
	乳房の障害	12.0	12.5	28.6	9.0	284.7	191.7	19.5	
	卵管炎及び卵巣炎	7.7	9.7	10.2	11.3	18.6	222.5	4.8	
	子宮頸(部)の炎症性疾患	23.3	12.4	5.1	37.4	6.2	5.4	15.7	
	その他の女性骨盤臓器の炎症性疾患	26.8	20.7	26.4	45.2	35.9	81.8	105.9	
	子宮内膜症	9.2	7.6	9.1	5.3	5.0	4.4	3.6	
	女性性器脱	11.1	9.5	8.1	42.1	9.6	16.0	6.4	
	卵巣、卵管及び子宮広間膜の非炎症性障害	12.0	12.4	4.2	4.4	2.8	3.7	8.6	
	月経障害	24.1	21.9	14.7	10.1	11.3	10.8	8.3	
閉経期及びその他の閉経周辺期障害	1099.7	246.2	273.2	55.5	23.9	60.0	62.8		
女性不妊症	2.5	3.0	1.9	2.6	2.4	1.1	1.3		
その他の女性生殖器の疾患	26.0	15.1	36.3	18.1	11.8	47.0	7.8		
XV 妊 娠、分娩 及び産 じょく	<b>XV 妊娠、分娩及び産じょく</b>	<b>10.2</b>	<b>10.5</b>	<b>9.1</b>	<b>9.9</b>	<b>45.9</b>	<b>28.4</b>	<b>19.9</b>	
	自然流産	1.9	2.3	1.8	4.4	1.3	2.1	2.1	
	医学的人工流産	0.9	2.8	24.8	2.3	2.5	1.0	0.7	
	その他の流産	8.5	6.3	5.7	3.6	2.5	35.3	2.3	
	妊娠高血圧症候群	11.7	11.8	10.4	11.4	45.7	116.2	8.3	
	妊娠早期の出血(切迫流産を含む)	14.8	14.3	15.0	13.8	17.3	30.4	18.8	
	前置胎盤、胎盤早期剥離及び分娩前出血	17.6	16.2	13.8	15.6	15.7	13.5	14.9	
	その他の胎児及び羊膜腔に関連する母体のケア並びに予想される分娩の諸問題	16.2	16.6	15.6	17.4	22.6	32.8	21.9	
	早産	18.6	26.7	18.6	18.2	19.0	291.4	7.0	
	分娩後出血	4.8	8.0	2.8	4.6	2.5	3.8	4.8	
	単胎自然分娩	3.6	3.6	3.3	3.4	3.4	4.1	5.8	
	その他の妊娠及び分娩の障害及び合併症	8.1	7.5	8.2	6.7	201.3	43.3	47.0	
	主として産じょくに関連する合併症及びその他の産科的病態、他に分類されないもの	11.5	9.5	6.3	7.4	1303.8	293.8	148.1	
	XVI 周 産期に発 生した病 態	<b>XVI 周産期に発生した病態</b>	<b>26.1</b>	<b>27.1</b>	<b>28.4</b>	<b>24.9</b>	<b>27.8</b>	<b>250.0</b>	<b>263.0</b>
		妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	34.1	36.0	36.5	31.7	35.5	45.6	46.1
		出産外傷	30.3	1.3	142.0	0.0	13.0	3.0	9.7
		周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	30.4	20.8	23.5	18.9	23.6	565.8	699.2
周産期に特異的な感染症		6.8	9.1	7.3	5.4	10.8	1272.2	1388.9	
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害		5.3	5.5	5.5	5.8	6.7	287.2	591.5	
その他の周産期に発生した病態		13.3	13.1	19.0	14.8	11.2	448.9	62.4	
XVII 先 天奇形、 変形及び 染色体異 常		<b>XVII 先天奇形、変形及び染色体異常</b>	<b>816.6</b>	<b>1016.6</b>	<b>1139.8</b>	<b>1247.9</b>	<b>1195.2</b>	<b>1561.5</b>	<b>1482.2</b>
	二分脊椎<脊椎披裂>	1063.9	813.5	965.9	1166.4	1499.2	1242.4	863.8	
	その他の神経系の先天奇形	3490.9	3604.7	4164.6	3854.2	3207.5	4593.0	5068.0	
	心臓の先天奇形	147.3	135.8	132.4	167.0	131.9	150.3	132.6	
	その他の循環器系の先天奇形	268.4	267.3	287.7	221.6	231.9	310.4	273.8	
	唇裂及び口蓋裂	11.5	20.9	17.7	6.6	5.0	7.5	32.6	
	小腸の先天欠損、閉鎖及び狭窄	62.0	62.6	34.4	31.8	27.5	88.7	56.5	
	その他の消化器系の先天奇形	243.7	143.8	176.5	74.4	251.6	79.5	116.9	
	停留精巣<睾丸>	3.2	2.9	1.7	3.4	10.2	2.7	1.3	
	その他の腎尿路生殖器系の先天奇形	64.5	122.2	72.4	36.3	56.0	19.8	23.3	
	股関節部の先天変形	118.6	121.7	170.2	177.6	88.0	131.1	75.8	
	足の先天変形	152.0	49.0	83.2	89.2	320.2	57.7	56.9	
	脊柱及び骨性胸部の先天奇形	349.0	179.4	831.8	927.8	907.1	3190.9	1014.6	
	その他の筋骨格系の先天奇形及び変形	450.1	509.4	364.7	517.1	449.1	764.7	570.6	
	その他の先天奇形	1291.2	1602.8	1437.0	1675.8	1725.8	2083.1	1629.5	
	染色体異常、他に分類されないもの	2734.9	3070.8	3288.6	3517.6	3391.7	4114.0	4023.6	
	XVIII 症 状、徴候 及び異常 臨床所 見・異常 検査所見 で他に分 類されな いもの	<b>XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの</b>	<b>301.7</b>	<b>309.4</b>	<b>251.7</b>	<b>256.6</b>	<b>332.2</b>	<b>371.3</b>	<b>291.0</b>
		腹痛及び骨盤痛	16.4	13.9	19.5	27.3	47.9	19.9	25.2
		めまい	39.8	30.5	19.0	42.6	78.6	62.2	36.8
不明熱		40.2	31.9	56.6	33.2	38.5	113.8	75.5	
頭痛		11.8	16.2	39.0	123.8	47.0	57.7	29.2	
老衰		277.8	392.0	443.9	447.8	357.1	1370.4	246.5	
その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		401.1	416.4	325.0	317.1	396.9	399.6	331.8	

表3. 患者調査における在院患者平均入院期間(年次・傷病別)つづき

傷病カテゴリー別		在院患者平均入院期間						
		平成8年	平成11年	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年
XIX	<b>XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響</b>	<b>193.9</b>	<b>185.5</b>	<b>185.5</b>	<b>212.6</b>	<b>210.0</b>	<b>240.3</b>	<b>192.9</b>
	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	70.6	43.1	63.0	52.2	76.9	98.6	172.1
	頸部, 胸部及び骨盤の骨折(脊椎を含む)	122.6	107.5	119.8	118.0	127.4	160.5	101.5
	大腿骨の骨折	152.5	143.6	151.4	158.5	144.3	150.1	117.3
	その他の四肢の骨折	45.0	58.1	106.6	117.4	120.8	135.9	55.6
	多部位の骨折	152.6	165.4	192.1	236.4	236.9	208.8	160.8
	部位不明の骨折	91.7	96.4	201.6	99.5	182.3	168.0	101.5
	脱臼, 捻挫及びストレイン	58.0	64.1	37.1	52.7	41.5	70.8	35.0
	眼球及び眼窩の損傷	11.8	9.3	10.5	9.7	11.7	12.1	5.9
	頭蓋内損傷	361.5	324.0	322.6	390.3	371.6	408.5	402.0
	その他の内臓の損傷	51.6	32.1	32.5	25.3	31.4	40.0	115.5
	控減損傷及び外傷性切断	77.0	52.0	56.5	78.5	95.6	115.9	184.8
	その他の明示された部位, 部位不明及び多部位の損傷	273.1	271.3	230.9	287.4	291.6	367.3	343.2
	自然開口部からの異物侵入の作用	26.8	13.6	42.9	40.2	121.1	187.5	335.9
	熱傷及び腐食	165.9	60.2	84.4	71.6	131.9	160.1	90.6
	薬物, 薬剤及び生物学的製剤による中毒	408.0	341.7	102.7	216.3	181.4	100.8	180.3
	薬物を主としない物質の毒作用	779.3	786.1	772.7	884.0	781.9	1086.0	789.7
	虐待症候群	994.4	1458.4	2450.6	3163.5	3632.2	1825.4	63.6
	その他及び詳細不明の外因の作用	132.0	228.8	328.4	422.8	332.3	223.9	225.7
	外傷の早期合併症並びに外科的及び内科的ケアの合併症, 他に分類されないもの	483.7	303.6	330.3	385.0	275.9	277.9	113.2
	損傷, 中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	1475.6	1349.0	1227.1	1407.2	1414.5	1601.8	1428.7
XXI	<b>XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用</b>	<b>6.5</b>	<b>6.9</b>	<b>13.7</b>	<b>16.7</b>	<b>79.5</b>	<b>57.2</b>	<b>117.6</b>
	新生児の検査・健診・管理	3.3	3.3	3.6	4.1	5.6	4.1	3.4
	乳幼児の検査・健診・管理	3.6	23.2	40.8	30.3	196.8	25.7	44.7
	それ以外の検査・健診・管理	1.3	1.8	1.5	9.7	1.3	0.9	4.9
	正常妊娠・産じょくの管理	5.0	5.3	5.3	6.0	6.1	10.0	7.5
	菌の補てつ	13.4	21.4	10.9	8.2	5.5	99.3	24.4
	その他の保健サービス	30.4	29.2	41.0	33.6	146.9	128.2	200.5